

8-1-4 対外活動委員会WG（道路会社）

1. 対外活動委員会 WG（道路会社）の概要

(1) WG（道路会社）の活動目的

毎年度、東日本高速道路(株)、中日本高速道路(株)、西日本高速道路(株)、及び首都高速道路(株)との意見交換会のために、建設コンサルタントの現状と課題を踏まえて、道路会社に対する「要望と提案」とその根拠資料としての【調査資料集】を作成する。

(2) WGの構成（委員）

WG 長には対外活動委員会副委員長があたり、対外活動委員会から道路会社担当委員2名、道路会社業務検討WG、技術部会から道路専門委員会、道路構造物専門委員会、施工管理専門委員会の委員長・委員を中心にメンバーを選出し、14名程度の体制でのWG構成とする。

2. 主な活動の記録

(1) WGの開催（Web会議方式）

令和4年8月24日に第1回WG、9月29日に第2回WGを開催した。各専門委員会で実態調査・意見集約した結果や、別途実施されている道路会社業務検討WGによる発注者との実務者検討会での検討課題等を整理し、各道路会社向け「要望と提案」及び【調査資料集】を検討・作成した。

(2) 対外活動委員会での協議

上記WGで検討した「要望と提案」及び【調査資料集】については、10月の第2回対活・白書合同委員会で協議し、内容を詰めた。

(3) 意見交換会の開催

4つの道路会社との意見交換会については以下の日時において集合形式で開催された。

10月17日：中日本高速道路(株)

10月18日：西日本高速道路(株)

12月19日：東日本高速道路(株)

12月12日：首都高速道路(株)

3. 各道路会社向け「要望と提案」の骨子

意見交換会に用いた「要望と提案」は次のとおりである。

I. 担い手の確保・育成のための環境整備

- 建設産業全体の働き方改革と生産性向上に向けた受発注者協働による取組み推進・強化
- ①履行期限（納期）の平準化と標準履行期間の確保への取組み強化（東・中・西）
- ②受発注者協働によるワークライフバランスの更なる改善に向けての施策の推進・強化（東・中・西・首）
- ③(2)受発注者協働による災害対応に向けた継続的な環境整備
- ④被災地域に対する迅速かつ適切な災害対応と改正労働基準法遵守との両立（東・中・西）
- ③企業経営の安定と処遇改善に向けての環境整備
- ④インフラ整備の中長期事業計画の策定・公表と安定的な事業量の確保（東・中・西）
- ⑤改築事業や拡張事業などで発生する複雑な業務の適切な費用計上（東・中・西）
- ③「調査等請負契約における設計変更ガイドライン」の継続的な改定と適切な設計変更（東・中・西）
- ④設計変更ガイドラインの周知徹底（首）
- ⑤新規工種の設計変更における適用落札率の適正化（首）
- ⑥実態に即した適切な費用計上（首）
- ④(4)ネクスト業務を実施できるコンサルタントを育成するための大手コンサルタントと地元コンサルタントのJVの試行（東・中）
- ⑤(5)人材確保・育成、新たな事業推進形態の環境整備
- ①若手・女性など多様な技術者の活用・育成のための入札・契約制度の改善の継続（東・中・西・首）
- ②未経験技術者活用の契約制度について改善要望（首）

II. 技術力による選定

- ①プロポーザル方式・総合評価落札方式等の適確な運用・改善
- ②プロポーザル方式を中心とした発注方式の継続（東）
- ③総合評価落札方式における落札率の改善（中）
- ④複雑な検討業務や詳細な施工計画などを伴う設計業務におけるプロポーザル方式の積極的な適用（西）
- ⑤管理技術者の手持ち業務制限の緩和措置（首）

III. 品質の確保・向上

- ①(1)受発注者それぞれの役割を踏まえたエラー防止への取組み
- ②(1)受発注者合同現地踏査の実施（東・中・西）
- ③(2)受発注者が工程・問題点を共通認識するために特記仕様書等による設計条件明示の徹底（首）
- ④(3)適切な工程設定と柔軟な工期変更（首）
- ⑤(4)品質確保・向上に資する施策の継続的な改善（首）
- ⑥(5)詳細設計における各工種の設計目的・設計条件・成果内容の明確化と適切な費用計上（首）
- ②(2)橋梁の基本設計・詳細設計・耐震補強設計における総合的な品質の確保
- ③(1)詳細設計における各工種の設計目的・設計条件・成果内容の明確化と適切な費用計上（東・中・西・首）
- ④(2)改築設計や耐震補強設計における付属物あるいは検査路の撤去・設置など、現地合わせが必要な業務についての図面の簡略化の継続（東）
- ⑤(3)詳細な図面が必要な業務について適切な契約項目および数量の計上（中・西）
- ③(3)維持管理・更新事業等における技術的課題解消に向けた発注契約方式などの改善
- ④(1)設計者・施工者連携方式の検討等合理的な入札契約制度の選定（東・中・西）
- ⑤(2)拡張設計や改築設計における適切な準備と費用計上（東・中・西）
- ⑥(3)実施した作業の実態に即した適切な費用計上（中・西）

IV. 「DX推進の環境整備」と「成長と分配の好循環の実現」

- (1)DXの推進
- ①(1)受発注者協働による働き方改革に資するDX推進（東・中・西・首）
- ②(2)i-ConおよびBIM/CIMの推進（東・中・西）
- ③(3)i-Dreamsを基軸としたBIM/CIMのさらなる推進（首）
- (2)DXの推進の費用面・工期面での環境整備
- ①(1)BIM/CIM活用の業務価格及び工期設定への考慮（東・中・西）
- ②(2)DX、テレワーク等に対する一般管理費の見直し（東・中・西）
- ③(3)BIM/CIM活用による建設生産・管理システム全体に係る生産性向上への取組み（首）
- ④(4)BIM/CIMの費用面での環境整備（首）
- (3)成長と分配の好循環の実現（首）

V. 施工管理業務の改善

- (1)施工管理業務の効率化（東・中・西）
- (2)新規施工管理業務参入者への受発注者協働した教育及び支援（東・中・西）

4. 次年度の活動について

次年度も、今年度と同様の活動を継続する。

（対外活動委員会WG（道路会社）WG長

小倉 司）